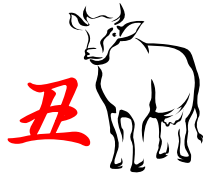




2009年を迎えました



◇今年の干支は丑(うし)です。
7年(数え年で)に1度の善光寺前立本尊御開帳もあり、まさに「牛に引かれて善光寺参り」の年となりました。
(御開帳は、4月5日から5月31日まで)

◇さて、2008年度の活動も残すところ3ヶ月弱となりました。また、2月9日から内部環境監査を予定しますので各位ご協力をお願いします。

さて今号ですが、10月中旬から11月末日まで本社内で募集した「環境(エコ)川柳大賞」を発表します。昨今の川柳ブームは環境(エコ)についても同じで、インターネットで「川柳 環境」と検索するだけでけっこうな量のサイト数がヒットします。

また、各企業で外部に向けて一般募集している川柳大賞もあり、大々的な活動も見られます。そんな中で、日精電機としてもそのブームに乗ろうということで『第1回 日精電機 環境(エコ)川柳大賞』を企画し開催にこぎつけました。

第1回ということもあり、投稿作品数としては27作品と書いた以上に少なく、投稿者数も10名でした。次回開催する際は多数の作品をお待ちしています。

年度末は、ISOのまとめとともに、内部監査も控えています。活動が低調にならないように気を引き締めていきましょう。



鬼押ハイウェイから望む雪の浅間山
(2007年11月撮影:H.M)

1. 1～3月及び4月に実施する事項

・1月～3月及び4月期に実施/活動する事項です。

月	内 容
1月	仕事始め(6日) (内部環境監査準備開始) 内部環境監査計画立案/審査/承認
2月	内部環境監査委員会 内部環境監査オープニングミーティング 内部環境監査実施 環境側面の見直し～3月中旬まで
3月	2009年度 教育計画の作成/審査/承認 内部環境監査フォローアップ監査 内部環境監査クロージングミーティング EMPのまとめ(第四節:末日) 2008年度EMP総合評価/まとめ
2009年度 4月	マネジメントレビュー 環境方針の見直し 2009年度 目的・目標の設定 2009年度 EMPの作成 文書類の見直し～5月初旬 定期環境管理委員会(月末か5月初旬) ※審査機関対応準備開始
5月	第6回 サーベイランス審査(21・22日)

※EMP=「環境マネジメントプログラム」の略
早いもので、2008年度ISO活動期間もあと2ヶ月少々となりました。4月には、2009年度の活動に入ります。
最近では、環境マネジメントプログラムの提出が遅く、活動の停滞を感じています。各部署でやるべきこと、やらなければいけないことは確実に実施し、記録して参りましょう。

本号の内容

P	項数	項 目
1	1	1～3月に実施する事項
2・3	2	発表! 第1回 日精電機「環境(エコ)川柳大賞」
4	3	環境関連トピックス
4	4	2月実施予定「内部環境監査」について

印刷配布:A.S.B.C.M.D.Q.J.K.E.M.R.E.M.R.s.E.M 専CiKnNa (15部)、ネット配信:G.To

2. 発表！ 第1回 日精電機「環境（エコ）川柳大賞」

- ◆目的：日精電機は、2008年10月で創業50周年を迎えました。
ISO14001活動も8年が経過し、我が社が益々発展するために「環境（エコ）川柳」を企画しました。五・七・五の調べに乗せ、環境に関する事柄を川柳にしたためて投稿いただきました。
- ◆川柳応募期間：2008年10月15日～11月30日
作品投稿者数：10名（男性9名、女性1名）
応募作品数：27作品（1人数作品応募可能）
- ◆応募作品に対する投票期間：2008年12月3日～12月20日
有効投票者数：21名（男性12名、女性7名、不明（無記名）2名）
有効投票総数：60票（1人3票まで投票可能）
- ◆大賞他各賞発表及び授賞式：2008年12月29日 全体終礼にて（日精電機食堂）
写真は授賞式の模様（写真手前・工場長と大賞受賞者のK. Y氏）



【Photo by A.W】



環境（エコ）川柳大賞

〔投票による1位〕

作品No. 18（得票数：7票）

裏紙を 使いたい時 保険屋待っ

投稿者 K. Yさん



環境（エコ）川柳準大賞

〔投票による2位〕

作品No. 21（得票数：6票）

ゴミ減量 残さず食べて 僕増量

投稿者 T. Nさん



投票入選賞

〔投票による3位〕

作品No. 9（得票数：6票）

準大賞と同票だが、本人が1票投じているため三位とした

エコバッグ 買ってみたけど 使っていない

投稿者 H. Mさん

工場長選賞 [工場長が選んだ川柳] 作品No. 3

環境に やさしい仕事 不良0(ゼロ)

投稿者 H. Kさん

環境管理責任者選賞 [環境管理責任者が選んだ川柳] 作品No. 2

もったいない 心がけて 環境づくり

投稿者 T. Tさん

川柳投稿賞 [上記受賞外の投稿された方全員]

S. Aさん、 S. Fさん、 H. Iさん、 K. Sさん、 T. Kさん

以上、 敬称略

▽全応募作品一覧 (受賞作品以外)

作品NO	作 品 (投稿者名は載せていません)
1	マイ箸も 洗剤使えば 海泣かせ
4	ごみ保管 聞いて下さい 分別を
5	日精に 語り継ぐべし ISO
6	リサイクル リユース リデュース もったいない
7	ワガミチハ アルイテイクゾ ガンバロウ
8	クールビズ 露出度増加で ヒートアップ
10	事故米を バイオに使いよ なぜ燃す
11	エコ生産 今やらなきゃ へのつぱりにもなりません
12	寒い日も 工夫ひとつで のりきれる
13	分別も 回収・コスト 産業たより
14	良き環境 一人一人の 努力なり
15	省エネと 環境管理で 未来を造る
16	燃えるゴミ 燃やせるゴミとの 違い知り
17	エラブルナ イツモイチバン イオンドノ
19	手順書に 地球の未来 見えてくる
20	ゴミ分別 表を見なくも 分かっている
22	トレーサビ これが究極 アイエスオー
23	エコロジー 祖父の姿に 見けたり
24	分別も やりはじめると くせになり
25	スリーアール 資源を守る あなたのエコから
26	快適を 地球と人で 分かち合い
27	草ぼうぼう 地球のためと 胸をはる

◆ 評 価 ◆

第1回の川柳大賞は結果としては、大成功であったと判断します。

作品を応募された人数は10名と少なかったのですが作品数としては27もありました。反面、投票による大賞選考に対して投票人数が21名と少なく、有効投票総数も60票と少数票による選考となりました。

川柳は、風刺の効いたもの、時事ネタなど様々なものが作品として捉えられ、作品内容としては、投稿者それぞれの個性が出ていて各々すばらしい出来であったと思います。

今回は事務局での急な思いつきにより企画しましたが、次回からは恒例行事として継続して行けたらと考えております。

次回は、夏あるいは今回と同じ秋に開催するかも知れませんが、皆さん作品を練って待っていてください。作品を応募された方々、投票に参加された方々に対しこの場をお借りしまして改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。次回も宜しくお願いたします。

3. 環境関連トピックス

①トキ放鳥成功!

前号で紹介した、トキ放鳥のその後ですが、2008年11月8日午前10時半頃に新潟県関川村上野新地内で、9月25日に新潟県佐渡市で放鳥したトキ1羽を確認したと環境省が発表しました。

しかし、残念ながら12月に入って1羽が死んでいるのが発見されています。

その後、中越地区でもトキが飛来している姿が確認されているためトキ放鳥はとりあえず成功といえる。

②イギリスでも大手スーパーがレジ袋削減

イギリス環境・食糧・農村地域省とイギリス小売協会(BRC)は2008年12月18日、2009年春までにレジ袋の消費数を2006年比で5割減とすることで合意した。長期的に7割減を目指すという。

日本のスーパーでも最近マイバック化を推進しており、レジ袋について「袋お付けしますか?」という店員の対応を最近耳にするようになってきた。見回すと、多くの人がマイバック、マイカゴを持参している。

③2008年世界の気候

気象庁は、2008年3月以降、アジアからアフリカ北部にかけ異常高温が多発したとする、2008年の世界の天候をとりまとめ12月22日に発表しました。それによると、シベリア南部からアフリカ北部で、3月以降たびたび異常高温となった。特にモンゴルのウランバートルでは3月の月平均気温が平年よりも6.6℃高い2.4℃であった。(それでも、寒いけど)また気象災害としては、アフガニスタンで800人以上の死者が伝えられた中国から中央アジアの寒波(1~2月)、640人以上の死亡が伝えられたフィリピンの台風や大雨(6~11月)、13万人以上の死者が伝えられたミャンマーのサイクロン(5月)、2,700人以上の死者が報じられたインド北部周辺の大雨(6~9月)、ウクライナの大雨(7月)、アルジェリアおよびイエメンの大雨(10月)、米国中西部の大雨(6月)、米国南部からカリブ海諸国のハリケーン(8~9月)などが報告されている。

④佐久の環境ニュース

日精電機のお隣・榎山工業株式会社さんは今年も恒例となったイルミネーションを点灯中です。

期間は3月1日(日)まで毎日。時間は午後4時30分から午前1時まで。

今回のテーマは、『白雪姫』です。かわいい小人たちもいますので見て楽しんでください。

参考資料:ECIネット、環境省、気象庁、信濃毎日新聞

4. 2月実施予定「内部環境監査」について

2月は、内部環境監査の実施予定月です。例年慌ただしく、書類等の準備をされていると思いますので、今回は早めの準備をお願いします。予定としては、2月9日、10日、12日を監査日に充て、13日、16日を予備日とします。それに先駆けて、1月末あるいは2月初には内部環境監査チームの打ち合わせ及び被監査部署を対象としたオープニングミーティングを開催したいと計画しております。

◆内部環境監査スケジュール確認

- 1月13日 内部環境監査年度計画/実施要領書配布
- 1月末or2月初 内部環境監査チーム会議
- 2月初 オープニングミーティング
- 2月9日~12日 内部環境監査(13,16予備日)
- 2月中旬 内部環境監査報告書/不適合報告書作成
- 3月初旬 上記報告書に是正内容記入提出
- 3月初旬 フォローアップ監査(実施する場合)
- 3月中旬 クロージングミーティング

◇内部環境監査後のスケジュール確認

- 3月中 2009年度 著しい/有益な環境側面決定
- 3月中 2009年度 教育計画作成
- 3月末 2008年度EMPまとめ
- 4月初 マネジメントレビュー
- 4月中 2009年度 環境目的・目標の設定
- 4月中 2009年度 EMP作成
- 5月上 定期環境管理委員会
- 5月21~22日 第6回サーベイランス審査(予定)

△編集後記

◆今回企画/特集しました「環境(エコ)川柳」ですが、最近多くの企業が一般に募集しており、事務局としてもそのブームに乗っかろうということで実施いたしました。

今回の投稿者数は予想したよりも少なかったのですが、かなり良い作品が投稿されたと思います。次回開催時には皆さん是非とも投稿していただきたいと思います。 <m>

◆次号◆ 通巻13号 2009年4月発行予定

企画・作成・編集：武者 弘文(副環境管理責任者)

発行責任者：中山 俊明(環境管理責任者)

発行：日精電機株式会社 ISO14001 環境管理事務局